

名古屋大学高等教育研究センター 第100回招聘セミナー

「フランスにおける高等教育 グローバル化と大学経営改革」

サイード・ペバンディ

(Saeed Paivandi、パリ第8大学准教授)

講演要旨

フランスでは、1968年に大規模な学生運動が展開された。これを受けて、政府は大学組織を大幅に見直す改革を断行した。それ以降、大学のガバナンスや自治をめぐる問題は、つねに高等教育策の中核的な位置を占めてきた。フランスの大学は、歴史的に国による監督を受けてきたが、その管理・運営の基盤は十分とは言えず、むしろ弱いというのが実情である。しかし、近年、この点の改善をめざして連続的に改革が行われており、状況は大きく変化している。2007年には「大学の自由と責任法」(LRU法)が制定され、これに基づいて大学改革が進められている。ここでは、「大学を魅力的にする」「大学の研究水準を国際的なものにする」「麻痺状況にあるガバナンスの現状を改善する」という目的に沿って、大学の自治を拡大する方向が追求されている。

日時：

2011年7月26日(火)
午後5時～7時

場所：

名古屋大学 東山キャンパス
文系総合館3階306号室

お問い合わせ：

豊田 哲
info@cshe.nagoya-u.ac.jp
052-789-5814